

青年海外協力隊が活動している国 (国際協力機構資料)

世界のなかで、日本はどんな活動をしているのだろう。



青年海外協力隊が活動している国名を、地図帳で調べてみよう。また、右の国際緊急援助隊やAMDA、緑の地球ネットワークが活動している国の場所を確かめてみよう。

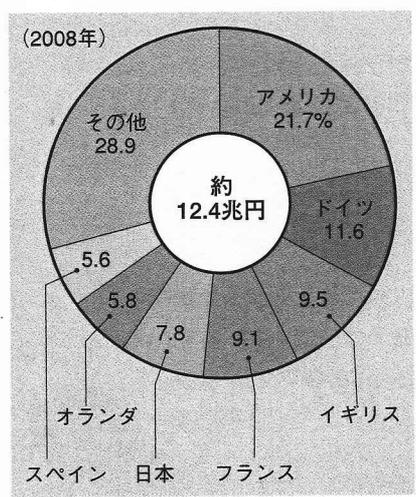


日本の国際協力について調べる

日本は、現在、世界有数の^{けいざい}経済力をもつ^{はってん}国に発展し、国際社会において重要な位置をしめるようになりました。いっぽうで、世界には、国づくりを進めようとしても、資金も必要な技術も足りずに、^{こま}困っている国がたくさんあります。日本は、こうした国に対して、資金の面で多くの^{えんじょ}援助をしている国の一つです。

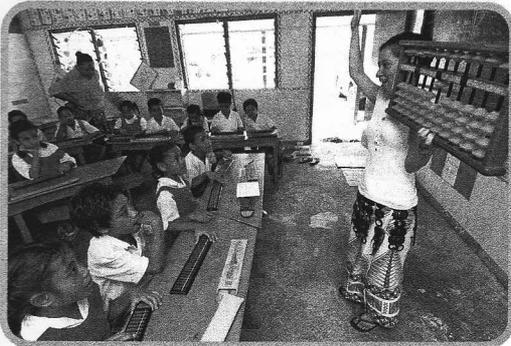
また、日本は、外国から研修生を受け入れて、技術者を育てています。

いっぽう、日本からもさまざまな人々が海外に出かけて、その国で必要とされる援助や、教育や医療・農業などの^{いりよう}くらしに役だつ技術指導もおこなっています。



経済援助をしているおもな国 (2009年刊 世界国勢図会)

青年海外 協力隊



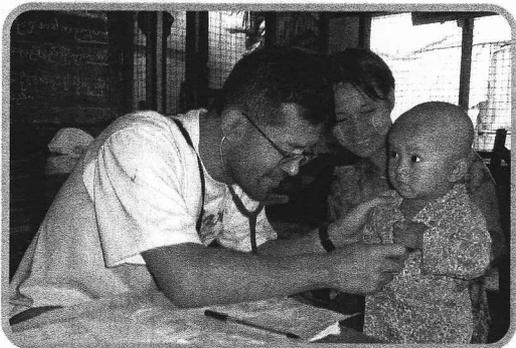
青年海外協力隊は、1965年（昭和40年）につくられた日本独自の組織です。2005年（平成17年）までに、隊員が活動をおこなってきた国は80か国あります。現地の人とともに生活しながら、技術指導などをおこなってきた隊員は2万6000名をこえます。

国際緊急 援助隊



地震や水害が多い日本は、災害に対する経験があるため、世界で発生した大規模な災害の復旧活動に、さまざまな形で参加しています。写真は、2008年に中国でおきた地震で、救助活動をおこなう国際緊急援助隊の人たちです。

AMDA (アジア医師連絡協議会)



写真は、2008年にミャンマーをおそったサイクロン（台風）の被災者への医療活動のようすです。AMDAは、1984年から、被災地や紛争地での医療を中心とした援助活動をおこなっていて、国連の医療活動にも参加しています。

緑の地球 ネットワーク



1992年から、中国の緑化活動を進めています。2006年までに、2000人をこえる人たちが中国をおとずれて、現地の人と協力しながら、植林などの活動をおこなっています。写真は、松の植林のようすで、中国の小学生たちも参加しています。